

令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

国内経済は、雇用・所得環境の改善により内需を中心に緩やかに回復していましたが、新型コロナウイルス感染拡大で感染者の急激な増加を避けるため、大規模イベントの自粛、時差出勤への協力、換気が悪く、人が密集し、密接をする3つの条件が同時に重なる場所への行動を避ける要請もあり、社会・経済や日常生活に影響が出てきています。県内においても同様で今後の感染拡大による影響が心配されます。

県内シルバー人材センターの状況は、契約金額では派遣事業において増加したものの請負・委任を併せた契約金額は減少しています。また、会員数においても減少傾向が続き依然厳しい状況となっています。

当センターの令和元年度事業の概要は下記の表のとおりです。

項目	令和元年度実績	平成30年度実績	対前年度比
会員数	310人	302人	102.6%
就業実人員	270人	267人	101.1%
就業率	87.1%	88.4%	98.5%
受託件数	5,175件	5,315件	97.4%
配分金額	121,035,659円	114,427,587円	105.8%
契約金額	152,442,147円	146,325,390円	104.2%
派遣事業	9,891,556円	6,839,879円	144.6%
補助金(国)	7,830,000円	7,830,000円	100.0%
〃(町)	8,179,200円	7,830,000円	100.4%

令和元年度、37人の新たな会員の入会があり、昨年度末より8人増の会員総数310人となり昨年に続き300人を超えました。契約金額についても152,442,147円で平成25年度から減少傾向の契約金額が7年ぶりに増加となりました。要因として福祉施設等での新たな就業が増えたものと考えます。

センターでは、県連合会が開催する高齢者活躍人材育成事業講習会修了者に入会案内、会員の紹介、退職予定者にシルバー人材センターの資料配布や広報紙等による会員拡大、HP及び窓口での就業案内、新入会員が希望する職種の就業開拓、チラシや事業所訪問など就業拡大と会員の就業率アップに努めました。また、新たに高齢者世帯のお助けとなるワンコインサービス事業を始めました。

安全就業では、過去3年間の重篤事故発生件数や事故防止に向けた取組みが評価され全国シルバー事業連絡会より令和元年度安全就業優良賞を受賞しました。これからも引き続き、安全パトロール、研修等で事故防止策を全会員に周知し安全就業に万全を期す必要があります。委員会活動につきましては、総務委員会では各種イベントに参加しシルバー活動、会員募集等についてPRを行いました。事業委員会では、会員の就業に向けて剪定、障子張替え等技能講習会やセンター事業への積極参加を促すポイント制度実施に取り組みました。広報・地域活動委員会では、「地域懇談会」の開催と会員向けミニ広報紙、シルバーだよりを発行しました。安全・適正就業委員会では、安全パトロール、事故要因の分析、ヒヤリハットによる事故防止に努めました。会員の皆さんには今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、以下、令和元年度の事業状況を報告いたします。